

質問者	通告 7 番 6 番 熊田 和人 議員	通告時間 30 分
質問事項	町の少子化対策について	
要 旨	<p>町の人口動態状況を見てみると、大井町が誕生して以来、概ね増加傾向にあったが平成 22 年の 17,972 人をピークに減少に転じており、直近 2 年は増加傾向にある。理由を私なりに分析すると、町の施策あるいは小規模開発による宅地の増加等があると思う。</p> <p>更に後年には、大井中央土地区画整理事業の完了で人口が増加する要素があるが、未来の大井町を担う若年層を増やしていかなければならないと思う。高齢化率を見ても日本は 28.4% で世界一であり大井町も 28.12% とほぼ同じである。このような状況を踏まえ次の 3 点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2019 年 4 月から 18 歳まで拡充された子ども医療費助成で出産可能年齢層と若年層の動態分析は。 2 若い年齢ほど乳がん検査は望ましい。早期発見がゆくゆくは少子化対策となる。町では乳がん検診が 40 歳以上の 2 年に一回で問診、視診、触診、マンモグラフィを補助して行っているが、30 歳から超音波（エコー）検査も併せて行う考えは。 3 少子化対策について施策等、町長の見解は。 	